



Cisco Unified IP Conference Phone の機能

- [機能の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ボタンとハードウェア \(1 ページ\)](#)
- [電話スクリーン \(9 ページ\)](#)
- [電話機の接続 \(11 ページ\)](#)
- [IP Phone に関する全般情報 \(13 ページ\)](#)
- [機能の可用性 \(14 ページ\)](#)

機能の概要

Cisco Unified IP Conference Phone 8831 は、IP ネットワークでの音声通信を提供する、フル機能の単一回線会議ステーションです。デジタル ビジネス電話機とほぼ同様に機能し、電話コールの発受信に加えて、ミュート、保留、転送、スピードダイヤル、コール転送などの機能を使用できます。さらに、会議ステーションがデータ ネットワークへ接続するため、ネットワーク情報やネットワーク サービスへのアクセスやカスタマイズ可能な機能やサービスなど、拡張 IP テレフォニー機能を提供します。

会議ステーションはバックライト付き LCD 画面や、最大 10 件のスピードダイヤル番号のサポート、その他のさまざまな高度な機能を提供します。オプションのマイクロホン拡張キットを使用すれば、2 つのユニットをリンクさせて室内カバー範囲を拡張することが可能です。

この会議ステーションを使用すると、基本的なコール処理機能に、強化された生産性機能が加わるため、コール処理機能が拡張されます。設定により、会議ステーションは次のことをサポートしています。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 会議ステーション機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified Communications セルフケアポータルからのサービス

ボタンとハードウェア

会議用電話機には、次の 2 つのプライマリ コンポーネントがあります。

- ディスプレイ制御ユニット (DCU)
- サウンド ベース

さらに、次のオプションの拡張キットを会議用電話機に追加したり、会議用電話機とともに使用したりすることができます。

- 有線マイクロフォン拡張キット
- ワイヤレス マイクロフォン拡張キットとチャージャー

会議用電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。

LED の状態の定義

サウンド ベースおよび DCU の LED により、会議用電話機の状態に関する情報が提供されます。

たとえば、サウンドベースと DCU の発信ボタンの緑色の点滅は、着信コールがあることを示します。会議用電話機がミュートになっているときに着信コールがあると、発信ボタンが引き続き緑色に点滅しますが、DCU のミュート ボタンの LED は赤色に点灯し、サウンドベースのミュート ボタンも赤色に点灯します。

次の表に、サウンドベースおよび DCU の LED 動作について説明します。

表 1: 会議用電話機の LED の状態に関する表

メディアパス状態	フォーカスされたコール	サウンドベース				ディスプレイ制御ユニット (DCU)			
		ベースの LED (3箇所)		ミュートボタン		DCUの発信ボタン		DCUのミュートボタン	
オフ	コールなし								
オフ	コールなし、VMあり					赤色	点灯		
オフ	サイレント (フラッシュ)	緑色	点滅			緑色	点滅		
オフ	着信コール	緑色	点滅			緑色	点滅		
オフ	保留復帰コール	緑色	点滅			緑色	点滅		
オフ	保留コール	緑色	明滅			緑色	明滅		
オフ	リモート保留コール					赤色	明滅		

メディアパ ス状態	フォーカスされた コール	サウンドベース				ディスプレイ制御ユニット (DCU)			
		ベースの LED (3箇所)		ミュートボ タン		DCUの発信ボ タン		DCUのミュ ートボタ ン	
オフ	リモートで使用中の コール					赤色	点灯		
ミュート解除	発信中/接続中のコー ル	緑色	点灯			緑色	点灯		
ミュート解除	サイレント（フラッ シュ）	緑色	点灯			緑色	点滅		
ミュート解除	着信コール	緑色	点灯			緑色	点滅		
ミュート解除	保留復帰コール	緑色	点灯			緑色	点滅		
ミュート	発信中/接続中	赤色	点灯	赤色	点灯	緑色	点灯	赤色	点灯
ミュート	サイレント（フラッ シュ）	赤色	点灯	赤色	点灯	緑色	点滅	赤色	点灯
ミュート	着信コール	赤色	点灯	赤色	点灯	緑色	点滅	赤色	点灯
ミュート	保留復帰コール	赤色	点灯	赤色	点灯	緑色	点滅	赤色	点灯
ディープス リープモ ード	ディープスリープ モード			グ レー	点灯				

ディスプレイ制御ユニット

ディスプレイ制御ユニット (DCU) は、マイクロ USB コネクタを使用してサウンドベースに接続します。

次の図および表は、DCU のボタンおよびハードウェアを示しています。



表 2: ディスプレイ制御ユニットのボタンおよびソフトキー

	項目	説明
1	電話スクリーン	会議用電話機のメニューおよび機能が表示される LCD スクリーン。
2	ソフトキー	4つのプログラマブルキー。
3	ナビゲーションバーと選択キー	ディスプレイ上でメニューをスクロールして項目を選択できる2方向のナビゲーションバーと選択キー。
4	発信ボタン	LED バックライト付き発信ボタン。 このキーを押して次の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • オフフックにする • 着信コールに応答する • ダイヤル トーンを取得してコールを開始する • コールを復帰する • コールをリリースする
5	キーパッド	電話番号のダイヤルや文字の入力を行います。

	項目	説明
6	ミュート ボタン	ミュート機能を切り替えます。赤色のバックライトは、コールがミュートになっていることを示します。
7	音量調節ボタン	スピーカの音量を上げる 2 方向の調整スイッチ。



(注) DCU の LED の意味の詳細については、「[LED の状態の定義 \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

サウンドベース


サウンドベースは、360 度全方位をカバーする 4 つのマイクロフォンを内蔵し、全二重方式のスピーカーフォンをサポートしています。

室内カバー範囲を拡張するには、2 つのサウンドベースユニットをリンクします。

次の図および表は、サウンドベースのボタンおよび接続部を示しています。



表 3: サウンド ベースのボタン

	項目	説明
1、2、3	LED インジケータ	3つのLEDインジケータによって、コールステータス情報が提供されます。LED動作の詳細については、「 LEDの状態の定義 (2 ページ) 」を参照してください。
4	ミュート ボタン 	バックライト付きミュート ボタン。

ワイヤレス拡張マイクロフォンおよびチャージャーキット

オプションのワイヤレス拡張マイクロフォンおよびチャージャーキットには、2つの無指向性ワイヤレスマイクロフォン、チャージャーユニット、チャージャーユニットに電源を投入するための2つの国別のAC電源クリップアダプタがあります。マイクロフォンキットを接続することにより、会議ステーションの室内カバー範囲が広がります。



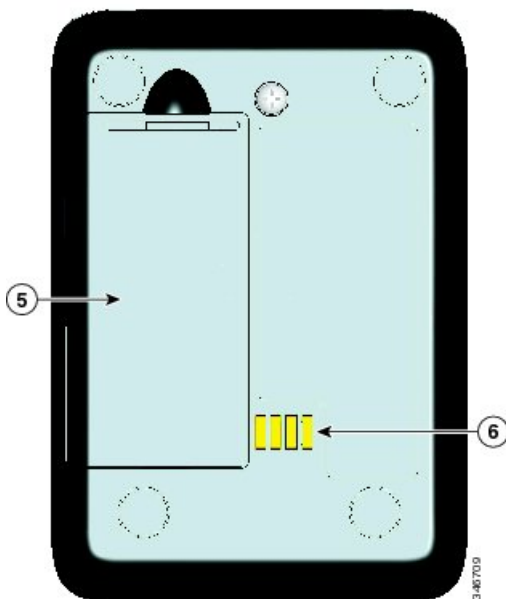


表 4: ワイヤレス拡張マイクロフォンおよびチャージャーのボタンと機能

項目	説明
1	無指向性ワイヤレス マイクロフォン
2	LED バッテリ ステータス インジケータ
3	チャージャー トレイ
4	ミュート ボタン
5	バッテリー収納部
6	充電接触部



(注) CP-MIC-WRLS-S-US=ワイヤレスマイクロフォンについては、バッテリーカバーの下にある FCC ID 認証番号を参照してください。FCC ID : LDKMICWR0776



-
- (注) CP-MIC-WRLS-S-US= ワイヤレス マイクロフォンについては、バッテリー カバーの下にあるカナダ IC 認証番号を参照してください。 IC : 2461B-MICWR0776
-

有線拡張マイクロフォンキット

オプションの有線拡張マイクロフォンキットには、2つの無指向性有線マイクロフォンがあります。マイクロフォンキットを接続すると、会議用電話機の室内カバー範囲が拡張されます。サウンドベースには2つの有線マイクロフォンポートがあり、1つまたは2つの有線マイクロフォンを接続できます。

会議用電話をリンク モードで別のサウンドベースに接続した場合、プライマリ サウンドベースは、1つまたは2つのワイヤレス マイクロフォン、あるいは1つの有線マイクロフォンをサポートします。セカンダリユニットは、1つの有線マイクロフォンのみをサポートします。ワイヤレス マイクロフォンをセカンダリ サウンドベースに接続することはできません。マイクロフォンキットの混在はできません。マイクロフォンを両方のサウンドベースに接続する場合は、マイクロフォンキットを両方とも有線マイクロフォンにする必要があります。



-
- (注) 有線マイクロフォンとワイヤレスマイクロフォンを同時に使用することはできません。ワイヤレス マイクロフォンが優先されます。ペアリングされた、またはチャンネルに接続された会議用電話機に有線マイクロフォンを接続しようとする、有線マイクロフォンは無効であることを示す警告が表示されます。この問題を解決するには、有線マイクロフォンを接続する前に、ペアリングまたは接続されたワイヤレス マイクロフォンをペア解除します。
-



表 5: 有線マイクロフォンのボタン

項目	説明
1	ミュート ボタン

電話スクリーン

DCU には、LCD 電話スクリーンが搭載されています。アイドル状態のスクリーンとホーム画面に、コールおよび機能のステータスに関する情報が表示されます。

会議用電話機がオフライン状態である場合、アイドル状態のスクリーンに「電話が未登録です」というメッセージが表示され、**[機能]** ソフトキーが使用可能な状態になっています。

画面上で使用可能な機能については、以下の図および表を参照してください。





表 6: 電話スクリーンのレイアウト。

	項目	説明
1	ヘッダー	日付、時刻、現在の電話番号が表示されます。メニュー名が表示されます（該当する場合）。
2	回線の詳細とその他の電話機情報	回線ラベル、コール詳細、およびステータスメッセージ（不在着信、メッセージ受信、コール転送情報など）が表示されます。
3	コール状態アイコン	コールの状態（コール呼び出し中、コール保留中、暗号化済みコール、接続済みコールなど）が表示されます。
4	ソフトキー ラベル	現在利用可能な機能や操作のソフトキーが表示されます。
5、6	機能アイコン	これらのアイコンは、拡張マイクロフォン（5）、リンクモード（6）などの関連機能が接続されている場合に表示されます。

電話スクリーンのアイコン

表 7: 電話スクリーンのアイコン

アイコン	説明
	オンフック
	オフフック
	呼び出し中
	接続中
	保留
	共有回線
	マイクロフォン接続中
	リンクモード
	暗号化済み

電話スクリーンのクリーニング



注意 会議ステーションのディスプレイスクリーンを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用してください。電話機には液体や粉を使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

電話機の接続

サウンドベースは電話機へのネットワーク接続部および電源接続部を備えています。また、DCS 用ミニ USB 接続部、有線マイクロフォンポート、およびリンクモード機能用ダイジェンチェーンポートも備えています。

次の図および表は、サウンドベースの接続部およびポートを示しています。

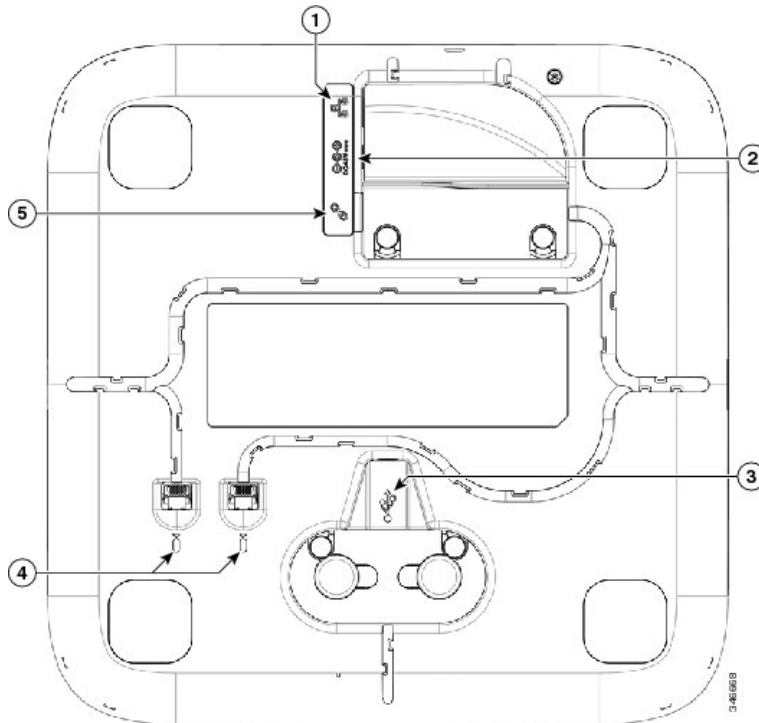


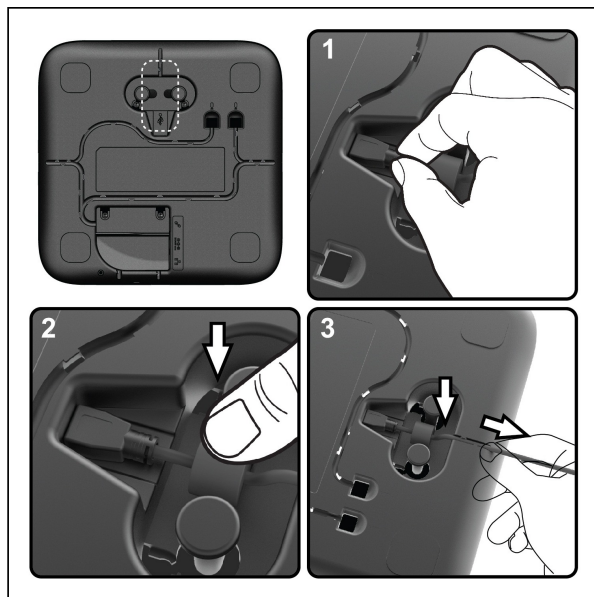
表 8: サウンドベースの接続部およびポート

	項目	説明
1	ネットワークポート	ネットワークポート（10/100 SW）の接続。IEEE 802.3af 電源対応。
2	壁面の電源	ローカル電源の接続。

	項目	説明
3	ミニ USB ポート	ベース ステーションを DCU に接続します。 注目 USB ケーブルを接続するときは、フェライト ビーズをしっかりと押し込み、ポスト間に正しく取り付けます。
4	有線マイクロフォンポート	2つの RJ11 マイクロフォンポート。オプションの有線マイクロフォンを各ポートに接続できます。
5	リンク モードのダイジーチェーンポート	リンク モードでの 2つのベース ステーションの接続をサポートします。

DCU へのミニ USB ケーブルの接続

次のイメージでは USB ケーブルの装着方法を説明しています。

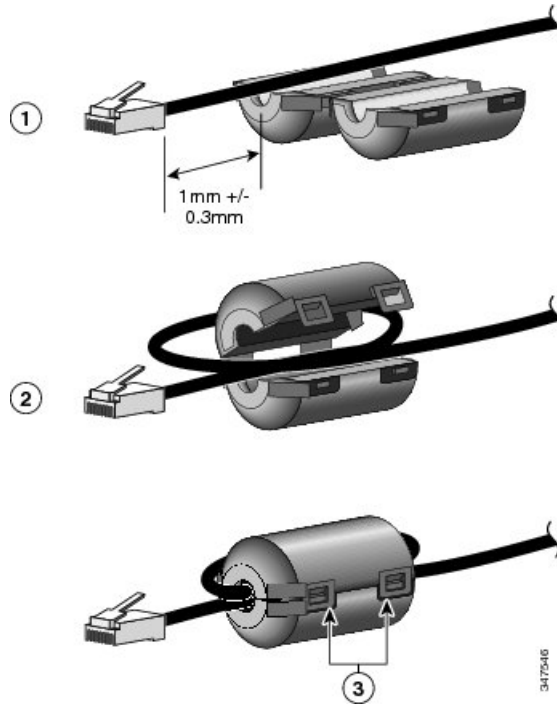


手順

-
- ステップ 1** ミニ USB コネクタを電話機の底部にあるポートに差し込みます。
 - ステップ 2** フェライト ビーズをポスト間に配置し、しっかりと押し込みます。
 - ステップ 3** ケーブル用の溝にケーブルを通します。ケーブルに少し緩みがあることを確認します。
-

ネットワーク ケーブルへのフェライト ビーズの取り付け

次のイメージではネットワーク ケーブルへのフェライト ビーズの装着方法を説明しています。



手順

-
- ステップ 1** フェライト ビーズをネットワーク ケーブルの先端に合わせて、フェライト ビーズからケーブルが 1.0 mm +/- 0.3 mm 出るようにケーブルに沿ってフェライト ビーズをずらします。
 - ステップ 2** フェライト ビーズの溝にケーブルを置き、ケーブルがフェライト ビーズの底側に出るようにフェライト ビーズにケーブルを一周巻き付けます。
 - ステップ 3** フェライト ビーズの溝にケーブルを配置してフェライト ビーズを閉めます。ラッチを閉じます。
-

IP Phone に関する全般情報

省電力モード

お使いの会議ステーションでは、Cisco EnergyWise (EW) プログラムをサポートしています。システム管理者は、節電のために会議ステーションのスリープ（電源オフ）時間とウェイク（電源オン）時間を設定します。スリープ状態にすると、サウンドベースのミュート ボタンの LED がグレーに点灯し、DCU の電源がオフになります。

スケジュールされたスリープ時間の 10 分前になると、特定の時刻に会議ステーションの電源がオフになることを示すメッセージが表示されます。システム管理者が省電力モードを有効にしている場合、呼出音が再生されます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの 10 分前になると、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 7 分前になると、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 4 分前になると、呼出音が 4 回再生されます。
- 電源オフの 30 秒前になると、呼出音が 15 回または会議用電話機の電源がオフになるまで再生されます。

スリープ時に会議ステーションが非アクティブ（アイドル）の場合は、会議ステーションの電源がオフになります。会議ステーションがアクティブ（コール中など）の場合、会議ステーションが非アクティブになってしばらく経ってから電源がオフになります。

会議ステーションがスリープ状態になった後で会議ステーションをウェイクアップするには、サウンドベースのミュートボタンを押します。DCU を使用して会議ステーションをウェイクアップすることはできません。会議ステーションが一定期間非アクティブになっていると、再びスリープ状態になります。設定されたウェイク時間になると、会議ステーションの電源がオンになります。

ウェイク時間とスリープ時間は、通常勤務する設定済みの日にもリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、会議ステーションを再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および会議ステーションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

機能の Availability

会議ステーションのシステム設定に応じて、このガイドに記載されている機能がご使用の会議ステーションで利用できない、または動作が異なる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。